

〔續古事談諸五道〕晴明、大舍人ニテ、笠ヲキテ、勢田橋ヲユクニ、茲光コレヲミテ、一道ノ達者ナラムズル事ヲシリテ、ソノヨシヲイヒケレバ、晴明、陰陽師具曠ガモトニユキタルニ、モチイズ、又保憲ガリユキタルニ、ソノ相ヲミテ、モテナシケリ、晴明ハ術法ノ物ナリ、才覺ハ優長ナラズトゾ、晴明光榮論ジケル、保憲ガトキ、光榮ヲバ前ニイタスコトナシト、晴明申ケレバ、愛弟トニクマンコトナヲヒトシカラズトゾ、光榮申ケル、晴明ガ云ク、百家集我ニツタフ、光榮ニハツタヘズ、コレソノ證ナリト云ケレバ、光榮、百家集我ガ許ニアリ、又曆道ツタフトゾ云ヒケル、

〔今昔物語二十四〕安倍晴明隨忠行習道語第十六

今昔天文博士安倍晴明ト云陰陽師有ケリ、古ニモ不耻テ止事無リケル者ナリ、幼ノ時、加茂忠行ト云ケル陰陽師ニ隨テ、晝夜ニ是ノ道ヲ習ケルニ、聊モ心モト无キ事无リケル、而ルニ晴明若カリケル時、師ノ忠行ガ、下渡ニ、夜行ニ行ケルニ、供ニ歩ニシテ、車ノ後ニ行ケル、忠行車ノ内ニシテ、吉ク寢入りリニケルニ、晴明見ケルニ、艶ヌ怖キ鬼共、車ノ前ニ向テ來ニケリ、晴明是ヲ見テ、驚テ車ノ後ニ走り寄テ、忠行ヲ起シテ告ケレバ、其時ニゾ、忠行驚テ覺テ、鬼ノ來ルヲ見テ、術法ヲ以テ忽ニ我ガ身ヲモ恐レ无ク、供ノ者共ヲモ隱シ、平カニ過ニケル、其後忠行、晴明ヲ難去リ思テ、是ノ道ヲ教フル事、瓶ノ水ヲ寫スガ如シ、

〔古今著聞集七衛道〕御堂關白殿御物忌に、解脱寺僧正觀修、陰陽師晴明、醫師忠明、武士義家朝臣參籠して侍けるに、五月一日南都より早瓜を奉たりけるに、御物忌の中に取入られん事いかゞあるべきとて、晴明にうらなはせられければ、晴明うらなひて、一つの瓜に毒氣さふらふよしを申て、一をとり出したり、加持せられば毒氣顯れ侍べしと申ければ、僧正に仰て加持せらるゝに、茲ばし念誦の間に、そのうちはたらきうごきけり、其時忠明に毒氣治すべきよし仰られば、瓜を取まはしく見て、二所に針を立てけり、其後瓜はたらかす成にけり、義家に仰て、瓜をわらせられけ